

## 漆喰について

### 《「漆喰」効果》

塗り壁漆喰＝お城や社寺仏閣の白壁に代表される壁（歴史的建造物）

建造物漆喰＝屋根瓦等の接着剤の役目（万里の長城など5千年の歴史）

漆喰は、消石灰に糊類（海藻などの海苔）と苧（麻・マニラ・紙）とを混合し練り上げたものを用途に合わせて施工する。このため風雨や火災に強く数千年の歴史を刻んでいる建築材である。

消石灰（水酸化カルシウム）＝ 石灰岩（数万年の堆積岩）→採掘→破碎  
焼成→生石灰（炭酸カルシウム）+「水」→消石灰（水酸化カルシウム）

上記の材料を施工した場合、硬化過程で空気中の二酸化炭素を吸収し固まるのでCO<sub>2</sub>の削減に寄与する一方、漆喰は（強アルカリ性）を持つので強い抗菌性を発揮する。（抗菌率 99.99%）

〔石灰岩〕 採掘 → 純度の良いものは「漆喰の材料」に、焼成方法も変わる。  
→ その他のものは農業用に使用される。（消毒用）  
（鳥インフルエンザの消毒は石灰と法で定める）

石灰岩の採掘



漆喰用の塩焼窯



◇ドロマイド（苦灰石）＝石灰岩にドロマイトを含むものがある。

ドロマイトプラスター（炭酸カルシウム+炭酸マグネシウム）

抗菌率（99.998%）昭和46年：不燃材・昭和50年防火性を認可

塗り壁材として使用、漆喰と異なる使用用途（範囲は広い：水性）

◇漆喰のCO<sub>2</sub>吸収量＝1㎡の硬化に600g（500mLペットボトル650本）

◇漆喰の抗菌性能＝生活空間の有害物質を吸着・分解（調湿・消臭）

### 《「漆喰」の用途》

建築物全般に使用用途がある。天井・壁・屋根漆喰・装飾施工（役物全般）

壁 材：内・外部壁、 壁の種類：漆喰金縷押さえ・磨き壁・パラリ壁

（着色：100色程度可能）

屋根材：防水漆喰 屋根瓦・メンドウ漆喰 海鼠壁の瓦押さえ

装飾材：絵画手法 フレスコの下地・漆喰絵（コテ絵）

：建築手法 室内の装飾 蛇腹・柱飾り・シャンデリア飾り

漆喰はあらゆる用途に使用が可能ですが、それぞれの用途により練り方が違い、のり捏ねの「糊の種類」・「苧の種類」及び「量」が異なります。微細なものには「和紙」を苧として使用するなど繊細なものです。代表的なものに「土蔵」があり、いずれも数百年の歴史を持つ。